

新内容項目対応版

■学習指導要領準拠■

---

[ゆたかな心—新しい道德—]指導資料

# 道德の年間指導計画例

---

●「『わたしたちの道德』との関連」付き●

1年

株式会社光文書院

## 本書の使い方〔先生がたへ〕

1. 「主題のねらい」を具体的に示し，【評価の観点】としても活用できるよう記しました。
  - 心のあり方だけではなく，行動力の育成も視野に作成しています。
  - 総括的な「◎ねらい」をさらに分析し，具体的な「\*ねらい」によってわかりやすく示しました。
  - 具体的な「\*ねらい」は，
    - ・どのような感動を期待するか ・どのような道徳的理解や判断力を期待するか ・どのような自分のよさを期待するか
    - ・どのような生き方（実践意欲や態度）を期待するかという観点に基づいて表記しています。
  - 「\*ねらい」の表現方法も，評価の観点としての活用をふまえ「……心が動く」「……わかる」「……しようとする」「……課題をもつ」など，子どもの立場に立った表記をしています。
2. 「展開の概要」を多様化しました。
  - 道徳の授業は，さまざまな学習活動によって成り立っていますので，発問の乱発を避け，より具体的な授業展開を描くことができるよう，多様な活動を示しました。
  - “授業は特定の教師と特定の子どもによってつくられる作品である”という立場に立ち，発問も子どもの違いによって変わるものとしてとらえ，授業構想を示しています。
  - 「展開の概要」をもとにして，「子どもの実態に即した発問」を工夫し授業を行うことを想定した展開になっています。
3. 「関連・連携」を強化しました。
  - 道徳教育は，道徳の時間を要として，学校における全教育活動における道徳教育と関連を図るとともに，家庭や地域社会における道徳教育と連携をとって行うものであるという文部科学省の考えに基づいて，関連や連携例に力を入れて示しました。
  - これを受けて，授業後の子どもの活動を促す「発展」を指導書（研究編）に提示し，児童書の最後にその内容を子ども向きの表現で示しています。
4. 『ゆたかな心』と『わたしたちの道徳』のそれぞれの特長を生かして，より効果的に活用するための計画案を示しています。
  - 『わたしたちの道徳』と併用しやすい工夫を加えました。
  - 道徳授業を深める『ゆたかな心』と，それを広げる『わたしたちの道徳』の効果的な関連方法を表記する欄を設けました。
  - 『わたしたちの道徳』の読み物資料を計画例に加え『ゆたかな心』の資料と選択できるよう配慮しました。

※2016年度改訂版『わたしたちの道徳』で追加された新内容項目の資料との対応表です。必要に応じて、ご利用ください。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
【わたしたちの道徳】まんがが すき—まんが「サザエさん」を 作った 長谷川町子—〔主題名／よい ところを 見つけたよ〕〈個性の伸長〉				
月				<p>【導入】P158を活用して、自分のよいところはどんなところかを考えさせる。</p> <p>【終末・発展】P159～P161を活用して、自分や友達のよいところを考えさせたり、教え合ったりさせる。</p>
【わたしたちの道徳】みんなと なかよく〔主題名／みんなと なかよく〕〈公正、公平、社会正義〉				
月				<p>【導入】P166, P167を活用して、「してよいこと」と「してはいけないこと」の見分け方を考えさせる。</p> <p>【発展】P168・P169を読み、自分が「うさぎさん」だったら、どうするかを考えさせる。</p>
【わたしたちの道徳】ほかの 国の ことを 知ろう〔主題名／ほかの 国の ことを 知ろう〕〈国際理解、国際親善〉				
月				<p>【発展】P170～P173を活用して、世界の国々のことを調べ、思ったことをまとめさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
1. いっしょに あそぼう【主題名／みんなで なかよく】〈友情, 信頼〉				
4月	<p>◎友達と仲よくし、助け合おうとする。</p> <p>*友達といっしょに仲よく遊ぶことは、楽しいことに気づく。</p> <p>*友達と仲よく遊ぶことの喜びやよさがわかる。</p> <p>*どうしたらもっと仲よく遊ぶことができるかを考え、たくさんの友達と楽しく遊ぼうとする。</p>	<p>1 好きな遊びを発表する。</p> <p>2 資料『いっしょに あそぼう』を見ながら話し合う。</p> <p>3 みんなで仲よく遊ぶために大切なこと、気をつけたいことを話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『いっしょに あそぼう』の絵話、絵探しの活動を中心に、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……新しい生活の緊張感を解きほぐすため、グループ遊びや集団遊びを取り入れ、児童の人間関係を深めさせる。</p> <p>③生活科・休み時間……担任の先生やみんなと仲よく遊び、友達の輪を広げさせる。</p>	<p>【発展】資料『いっしょに あそぼう』で学んだことを、P74を活用して、友達をたくさんつくりたいという意欲もたせる。</p> <p>【展開後段】P76を活用して、自分の生活について考えさせる。</p>

【わたしたちの道徳】およげない りすさん【主題名／ともだちと なかよく】〈友情, 信頼〉

4月				<p>【発展】資料『およげない りすさん』で学んだことを、P74を活用して、友達をたくさんつくりたいという意欲もたせる。</p>
----	--	--	--	--

2. がっこうまでの みち【主題名／「ありがとう」って いえますか】〈感謝〉

4月	<p>◎日ごろからお世話になっている人々がいることを知り、感謝しようとする。</p> <p>*自分たちの身のまわりには、日ごろからお世話になっている人がたくさんいることがわかる。</p> <p>*自分たちがお世話になっている人々に、感謝の心をもつ。</p> <p>*自分たちがお世話になっている人々に、進んで「ありがとう」の気持ちが伝えられるようになる。</p>	<p>1 自分たちがふだんお世話になっている人はどんな人かを考える。</p> <p>2 資料『がっこうまでの みち』を読んで、話し合う。</p> <p>3 自分たちがふだんお世話になっている人々について考える。</p> <p>4 ふだんお世話になっている人々に感謝の心が伝わっているかを振り返る。</p>	<p>①道徳の授業……資料『がっこうまでの みち』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②学級活動……感謝の気持ちをどのようにして届けたらよいかを話し合わせる。</p> <p>③日常生活……お世話になっている人へ「ありがとう」の気持ちを伝えさせる。</p>	<p>【展開後段】P82・P83を活用して、資料『がっこうまでの みち』で学んだことを広げさせる。</p> <p>【終末】P84・P85を活用して、感謝を伝える人をさがす活動をさせる。</p> <p>【発展】P86を活用して、感謝したい人への活動を具体化させ、活動をさせる。</p>
----	---	--	---	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	----------------

3. きちんとね〔主題名／まいにちを きもちよく〕〈節度，節制〉

5 月	<p>◎身のまわりをきちんと整えることが、気持ちよい生活のために大切であることがわかり、進んで整理・整頓をしようとする。</p> <p>*片づけることによって気持ちがよくなるのがわかる。</p> <p>*「きちんとね」という文章を暗誦し、日常生活に生かせるようになる。</p> <p>*いつもきちんと片づけて気持ちよく暮らそうとする。</p>	<p>1 いくつかの観点について、自分の今朝の生活のようすをふり返る。</p> <p>2 資料『きちんとね』の絵を見て、思ったことを発表し合う。</p> <p>3 資料にある「きちんとね」の文章を読み、覚えるまで繰り返す。</p> <p>4 机やロッカーの中、かさ立て、くつ箱などをきちんと整理して、「わたしの きもちも、きちんと なるよ」をみんなで味わう。</p> <p>5 これから自分で整頓するために、どんな気持ちでいたいかを考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『きちんとね』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……整理・整頓ができたか、帰りの会で発表させる。</p> <p>③雨降りや体育の授業前などで……かさの始末や体操服に着替えたあとの衣服の始末などがきちんとできているか、みんなで見合うなどの活動を行わせる。</p> <p>④総合的な学習の時間……学習内容で関連したことがらを取り上げるとともに、学習道具の整頓のしかたなどを随時話し合わせる。</p>	<p>【導入】P10・P11 を活用して、規則正しい生活ができているかという意識をもたせる。</p> <p>【展開後段】P12～P15 を活用して、資料『きちんとね』で学んだことを確かめ、どうすれば気持ちよくすごせるか考えさせる。</p> <p>【発展①】P12～P15 を活用して、学校生活だけではなく家庭生活など継続的にみつめさせる。</p> <p>【発展②】P20・P21 を活用して、自分の生活リズムを調べさせる。</p>
--------	---	--	--	---

【わたしたちの道徳】るっぺ どう したの〔主題名／きそく 正しく 気持ちの よい 毎日を〕〈節度，節制〉

5 月				<p>【導入】P10・P11 を活用して、規則正しい生活ができているかという意識をもたせる。</p> <p>【展開後段】P12～P15 を活用して、資料『るっぺ どう したの』で学んだことを確かめ、どうすれば気持ちよくすごせるか考えさせる。</p> <p>【発展①】P12～P15 を活用して、学校生活だけではなく家庭生活など継続的にみつめさせる。</p> <p>【発展②】P20・P21 を活用して、自分の生活リズムを調べさせる。</p>
--------	--	--	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
4. およげ こいのぼり〔主題名／まちの じまん〕〈伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度〉				
5月	<p>◎地域の行事に親しみをもち、進んで参加していこうとする。</p> <p>*地域の行事は楽しいという気持ちをもつ。</p> <p>*地域の行事には、人々の思いや願いがこめられていることがわかる。</p> <p>*地域の行事に、自分も参加しようとする。</p>	<p>1 地域の行事に参加した経験や感想を発表し合う。</p> <p>2 「ほかの地域ではどんな行事が行われているのだろうか。」という意識を持ちながら、資料『およげ こいのぼり』を読み、地域行事にこめられた人々の願いについて考える。</p> <p>3 自分たちが住む町には、どんな行事やよいところがあるのかについて話し合う。</p> <p>4 地域のことに詳しい方から話を聞く。</p>	<p>①日常生活……地域の行事を話題として取り上げ、考えさせる。</p> <p>②道徳の授業……資料『およげ こいのぼり』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③生活科……町の行事に関連する場所を見に行く活動をさせる。</p>	【発展】 P150～P153 を活用して、自分の町のよさを調べる活動をさせる。
【わたしたちの道徳】 ぎおんまつり〔主題名／ふるさとに 親しみをもつ〕〈伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度〉				
5月				【発展】 P150～P153 を活用して、自分の町のよさを調べる活動をさせる。
5. あいさつで しあわせに〔主題名／あいさつは こころの リボン〕〈礼儀〉				
5月	<p>◎気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心がけて、明るく接しようとする。</p> <p>*あいさつを気持ちよくすると、その気持ちは相手に通じ、お互いに明るく気持ちよくなることがわかる。</p> <p>*あいさつの言葉遣いは、時・場・相手によって異なり、使い分けが必要なことに気づく。</p> <p>*いつも気持ちのよいあいさつをしようとする意欲をもつ。</p>	<p>1 みんながしあわせになれるあいさつについて考える。</p> <p>2 村の動物たちがどんなあいさつをしているか、吹き出しに入る言葉を考えながら、資料『あいさつで しあわせに』を読む。</p> <p>3 ポンタ君や村のみんなはどんなあいさつをしているか、吹き出しに入る言葉を考える。</p> <p>4 あいさつをして、ポンタ君や村のみんなはどんな気持ちになったかを話し合う。</p> <p>5 しあわせになる言葉を集める。</p>	<p>①道徳の授業……資料『あいさつで しあわせに』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……ふだんのあいさつを通して、人と人が結びつき、お互いに明るい気持ちを分け合うことができることを実感させる。</p> <p>③課外や家庭での活動……あいさつを習慣化させるために、保護者や地域の方々に呼びかけて地域全体で取り組むことができるとよい。</p>	<p>【導入】 P54・P55 を活用して、どのようなあいさつがあるか思い出させる。</p> <p>【終末】 P58・P59 を活用して学習のまとめをする。</p> <p>【発展】 資料『あいさつで しあわせに』で学んだことを P56 を活用して、できるようになりたいあいさつを考えて活動させる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
【わたしたちの道徳】たびに 出て【主題名／気もちの よい ふるまいを】(礼儀)				
5 月				<p>【導入】P54・P55 を活用して、どのようなあいさつがあるか思い出させる。</p> <p>【終末】P58・P59 を活用して学習のまとめをする。</p> <p>【発展】資料『たびに 出て』で学んだことをP56 を活用して、できるようになりたいあいさつを考えて活動させる。</p>

### 重点主題

6 みんな みんな いきて いる  
7 おたんじょうび れっしゃ

▶ 重点主題名／いのち きらきら【生命の尊重】

#### 【重点主題のねらい】

◎自分が生きて生長していることの喜びを実感し、かけがえのない生命を大切にしようとする。

\*日々の自分の生活の中に、自分の命の輝きがあることに気づく。

\*生き生きと元気に生きることが、命を輝かせていることだとわかる。

\*自分の命は、友達や多くの人とのかかわりをもっていることを知り、喜びとともに生き生きと生きていこうとする。

6. みんな みんな いきて いる【主題名／いのちの かがやき】(親切, 思いやり / 生命の尊さ)

5 月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○人には元気に生きようとする力があり、命のすばらしさに気づく。</p> <p>○生き生きと元気に生きて、自分の命を輝かせようとする意欲をもつ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>『手のひらを太陽に』を歌って、歌のイメージを話し合う。</li> <li>歌の中から「いのちの かがやき」を見つける。</li> <li>ふだんの生活の中から、「いのちの かがやき」を見つける。</li> <li>うれしかったり悲しかったりした心の動きやこれからしてみたいことの中から「いのちの かがやき」を見つける。</li> <li>見つけた「いのちの かがやき」を「いのちきらきらカード」にまとめる。</li> </ol>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>「手のひらを太陽に」の歌である。「ぼくらはみんないきている いきているから」というくり返し言葉から、「生きている命」を見つけ、命の輝きを具体的に感じさせたい。そして、うれしかったり悲しかったりする心の動いた場面から、生き生きと生きることの大切さと命の輝きのすばらしさを感じ取らせることができる。</p>	<p>【発展】P94・P95 を活用して、生命尊重を描いた文学作品を読む活動をさせる。</p>
--------	---	---	---	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
7. おたんじょうび れっしゃ〔主題名／おたんじょうび おめでとう〕〈正直、誠実 / 生命の尊さ〉				
6月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○人はみんなそれぞれが大切な命をもっていることがわかる。</p> <p>○友達と「ともに助け合って生きる」ことに喜びの気持ちをもつ。</p> <p>○多くの人に見守られ「お祝いされている」ことを知り、命を輝かせて生きようとする意欲をもつ。</p>	<p>1 前時の「発展」で増やした自分が小さかったころの「きらきらカード」の内容を紹介し合う。</p> <p>2 資料『おたんじょうび れっしゃ』を読んで、話し合う。</p> <p>3 前時の「いのちきらきらカード」と本時のカードを合わせて読み直し、感想を発表する。</p>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>学級活動などでよく取り上げられる誕生日をお祝いする活動が素材となっている。それぞれの命の始まりとしてのお誕生日を通して、自分にも友達にも同じようかけがえのない命があることや、自分たちの命は多くの人から見守られ、お祝いされていることを知り、生きる喜びを高める資料である。</p>	<p>【終末】 P94～P101 を活用して、生命尊重を描いた話を読む活動をしようとして話し合わせる。</p>
【わたしたちの道徳】 ハムスターの 赤ちゃん〔主題名／いのちを大切に〕〈生命の尊さ〉				
6月				<p>【導入】 P100・P101 を活用して、生きることについて考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【発展】 P92・P93 を活用して、自分が生きていることを感じとらせ、資料『ハムスターの 赤ちゃん』で学んだことを広げる。</p>
8. みんなで まもろう〔主題名／きまりを まもろう〕〈規則の尊重〉				
6月	<p>◎みんなが使う物を大切に、きまりを守ろうとする。</p> <p>*みんなが使う物には、きまりがあることがわかる。</p> <p>*きまりを守るといことは、みんなのためでもあり、自分のためにもなることがわかる。</p> <p>*みんなが気持ちよく過ごすために、きまりを守って公共物を使おうとする。</p>	<p>1 約束やきまりを守っている人を思い出す。</p> <p>2 資料『みんなで まもろう』を読んで、話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『みんなで まもろう』を読んで、きまりを守ることの大切さについて考えさせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……朝の会や帰りの会などで、約束やきまりが守れた人を紹介して、みんなで協力して、よい生活をつくろうとする意欲を高めさせる。</p> <p>③生活科……学校内や家庭、地域で、どのようなきまりがあるかを調べさせる。</p>	<p>【導入】 P118・P119 を活用して、きまりのあるわけについて考えようという意欲をもたせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【終末】 P120・P121 を活用して、資料『みんなで まもろう』で学んだ、きまりや約束のあるわけについてまとめさせる。</p> <p>【発展】 P122・P123 を活用して「きまりのある生活」をさせる。</p>



月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	----------------

【わたしたちの道徳】きいろい ベンチ〔主題名／やくそくや きまりを まもって〕〈規則の尊重〉

6 月				<p>【導入】P122 を活用して、みんなが使うものについてのきまりやマナーについて考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【終末】P123 を活用して、まとめの活動をさせる。</p> <p>【発展】P128・P129 を活用して、きまりやマナーを調べる活動をさせる。</p>
--------	--	--	--	---

9. ぼく はずかしいや〔主題名／しょうじきに〕〈正直、誠実〉

6 月	<p>◎うそをついたり、ごまかしたりすると、心が落ち着かなくなることを知り、素直に伸び伸びと生活しようとする。</p> <p>*うそやごまかしをすると、恥ずかしい気持ちになることに気づく。</p> <p>*うそやごまかしをしないで生活すると、明るい気持ちになれることがわかる。</p> <p>*うそやごまかしをしないで、正直でありたいという気持ちをもって生活しようとする。</p>	<p>1 資料『ぼく はずかしいや』に出てくる「こんきち」と自分を比べて似たところはないかをさがしながら読む。</p> <p>2 「こんきち」が、人のせいにしたときの気持ちの変化について話し合う。</p> <p>3 「こんきち」に手紙を書く。</p>	<p>①道徳の授業……資料『ぼく はずかしいや』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活………日常の生活の中から、児童が正直で素直に行動していた具体的なできごとを教師が取り上げ、話し合わせる。</p> <p>③読書活動など……正直・明朗をテーマにした読み聞かせをする。</p>	<p>【終末】P44・P45 を活用して、学んだことをまとめさせる。</p> <p>【発展】P46 を活用して、明るく正直にすごそうと指導する。</p>
--------	--	---	---	--

【わたしたちの道徳】お月さまと コロ〔主題名／すなおに のびのびと〕〈正直、誠実〉

6 月				<p>【展開後段】『お月さまと コロ』で学んだことをP44・P45 を活用して、正直にすることのよさについて自分の考えをまとめさせる。</p> <p>【発展】P46 を活用して、明るく正直にすごすことについて、継続的に自分をみつめさせる。</p>
--------	--	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
10. ぼくに もたせて【主題名／ぼくに まかせて】〈家族愛，家庭生活の充実〉				
6 月	<p>◎祖父母への親しみを増して何かをしてあげたいという思いをもち、進んでお手伝いをする。</p> <p>*祖父母のようすを見て、手助けしたいという気持ちになった人に感動することができる。</p> <p>*祖父母といっしょに過ごす時、互いを気遣うやさしさが生まれてくることがわかる。</p> <p>*祖父母へのお手伝いをするこゝで、家族の結びつきがもっと強くなるこゝがわかり、これからもそうしようとする。</p>	<p>1 祖父母とのふれ合いについて考える。</p> <p>2 資料『ぼくに もたせて』を読んで、おじいさんのために行動した主人公「たろう」の気持ちを想像する。</p> <p>3 自分の祖父母のようすを見ていて、どんなときに「ぼくに（わたしに）まかせて」と言いたいかを考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『ぼくに もたせて』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②生活科……お手伝いができたら記録していくカードを作成し、家庭でのお手伝いに意欲的に取り組めるようにさせる。</p> <p>③家庭との連携……家でのお手伝いのようすを連絡してもらい、家族からの声を学級便りで紹介する。</p>	<p>【終末】 P140～P142 を活用して、家族のためにできることについて調べる活動をさせる。</p>
11. あおしんごう【主題名／こゝろに プレーキ】〈節度，節制〉				
7 月	<p>◎自分の身のまわりには、危険な箇所があることを理解し、安全を心がけようとする。</p> <p>*身のまわりには、危険な場所があるこゝがわかり、危ないなあと思う。</p> <p>*安全を自分の目で確かめて行動することが大切であるこゝがわかる。</p> <p>*自分の身を守るために、いつも安全に気をつけようとする気持ちをもって生活しようとする。</p>	<p>1 危ない目にあつたことはないかを思い出す。</p> <p>2 資料『あおしんごう』を読んで、考える。</p> <p>3 どんなときに、危ないこゝがあつたかを思い出す。</p> <p>4 「ゆりちゃん」に手紙を書く。</p>	<p>①道徳の授業……資料『あおしんごう』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②帰りの会……安全に気をつけて生活できたか、報告会をさせる。</p> <p>③生活科など……交通安全教室で、道路の安全な渡り方などを学習させる。</p> <p>④家庭との連携……通学路や近所で危険な箇所はないか、確認するよう学級通信で連絡する。</p>	<p>【導入】 P10・P11 を活用して、規則正しく生活することについて考え、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【終末】 P20・P21 を活用して学んだことをまとめさせる。</p>
【わたしたちの道徳】るっぺ どう したの【主題名／きそく 正しく 気もちの よい 毎日】〈節度，節制〉				
7 月				<p>【発展】 P12～P15 を活用して、学校生活だけではなく家庭生活など継続的にみつめさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
12. ぼくは いかない【主題名／ぼくは よわむしでは ない】〈善悪の判断, 自律, 自由と責任〉				
7月	<p>◎正しいことを行うことには友達の誘いを断ることも必要だということがわかり、進んでよいことを行おうとする。</p> <p>*「よわむし」とは、どうすることに弱いのがわかる。</p> <p>*よいことをしようとするとき、迷いを克服しようとする力が出てくることを知る。</p> <p>*勇気ある行為をしている友達がたくさんいることを知り、自分もそのようにしていこうという意欲をもつ。</p>	<p>1 「よわむし」ということについて、自分の考えを発表する。</p> <p>2 資料『ぼくは いかない』を読んで、「ぼく」の心の中の葛藤を明らかにする。</p> <p>3 「ぼく」は「よわむし」かどうかについて話し合う。</p> <p>4 どのようなときに勇気が出てくるか、その場面を想像する。</p>	<p>①道徳の授業……資料『ぼくは いかない』を読んで、話し合わせる。 [本時]</p> <p>②日常生活……危険な遊びをした児童に対して、本時の内容を振り返らせる。また、勇気ある行動をした児童を紹介する場を設ける。</p>	<p>【導入】P32・P33 を読み、どうすればよいか考えさせて、資料に入る。</p> <p>【発展】P36 を記入させて、活動のよさを確認させ、自分を継続的にみつめさせる。</p>
【わたしたちの道徳】ぼんたと かんた【主題名／よいと 思う ことは すすんで】〈善悪の判断, 自律, 自由と責任〉				
7月				<p>【展開後段】P32・P33 を読み、よいと思うことについて自分の考えをまとめさせる。</p> <p>【発展】P36 を記入させて、活動のよさを確認させ、自分を継続的にみつめさせる。</p>
13. かぼちゃの つる【主題名／わがママを しなくて】〈節度, 節制〉				
9月	<p>◎わがママをしなくて、けじめのある生活をしようとする。</p> <p>*わがママなふるまいは、他の人にとって迷惑であるばかりでなく、自分の生活が乱れることに気づく。</p> <p>*けじめのある生活をすると、自分の生活がもっとよくなるのがわかる。</p> <p>*生活の中で、わがママな気持ちを抑え、節度をわきまえて行動しようとする。</p>	<p>1 「わがママ」について自分の生活を思い出してみる。</p> <p>2 資料『かぼちゃの つる』を読み、つるが切られてしまった原因について考える。</p> <p>3 痛目にあったあと、「かぼちゃ」はどのような気持ちになったかを想像して話し合う。</p> <p>4 自分の生活の中で、わがママをしないように気をつけていることを発表する。</p>	<p>①道徳の授業……資料『かぼちゃの つる』を読んで、わがママの問題について考えさせる。[本時]</p> <p>②日常生活……わがママにふるまうことが多い時や場を発見させ、家庭と連携してそれを抑える必要があることに気づかせる。</p> <p>③帰りの会……一日を静かにふり返り、わがママをせずに生活できたかを考えさせる。</p>	<p>【導入】P10・P11 を読んでどんなことに気をつければよいかを考えて、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【終末】P13～P15 を活用してこれからの生活について自分の考えをまとめさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	----------------

【わたしたちの道徳】るっぺ どう したの【主題名／きそく 正しく 気持ちの よい 毎日を】〈節度、節制〉

9 月				【発展】P12～P15 を活用して、学校生活だけではなく家庭生活など継続的にみつめさせる。
--------	--	--	--	---

14. おとしよりと いっしょに【主題名／あいての きもち】〈親切、思いやり〉

9 月	<p>◎お年寄りに温かい心で接し、相手の気持ちを考え、自分にできることをしようとする。</p> <p>*相手の気持ちを思いやることの大切さがわかる。</p> <p>*相手の気持ちを考え、自分にできることをしようとする意欲をもつ。</p> <p>*自分の身近にいる人に温かい心でかかわろうとする。</p>	<p>1 「敬老の日」や、地域のお年寄りとの交流のようすを思い出す。</p> <p>2 資料『おとしよりと いっしょに』を読んで話し合う。</p> <p>3 自分の祖父母やお年寄りとの交流を思い起こし、喜んでもらったことや、これからやってみたいことを出し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『おとしよりと いっしょに』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②生活科……昔遊びなどで、お年寄りと楽しくふれ合うためにはどうしたらよいかを話し合わせる。ふれ合いの場面では、「自分もお年寄りも楽しく遊べるようにする」という意識をもって交流させる。</p>	【終末】P66・P67 を活用して、まとめさせる。
--------	---	--	--	---------------------------

【わたしたちの道徳】はしの 上の おおかみ【主題名／あたたかい 心で 親切に】〈親切、思いやり〉

9 月				【終末】P66・P67 を活用して、まとめさせる。
--------	--	--	--	---------------------------

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
15. きいろい ベンチ【主題名／みんなが つかう もの】〈規則の尊重〉				
9 月	<p>◎みんなが使う物を大切に考え、きまりを守ろうとする。</p> <p>*わたしたちのまわりには、みんなが使う物がたくさんあることがわかる。</p> <p>*自分勝手な使い方をすると、ほかの人に迷惑がかかることがわかる。</p> <p>*みんなが使う物にはそれぞれの使い方があることがわかり、気持ちよく使おうとする。</p>	<p>1 「身のまわりにある公共の物」にはどんな物があり、どのように使っているかを発表し合う。</p> <p>2 みんなで使う物はどのように使ったらよいのかという意識をもって、資料『きいろい ベンチ』を読む。</p> <p>3 身のまわりにあるみんなが使う物について、どんな使い方をすればよいのかを考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『きいろい ベンチ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……身のまわりにあるみんなでする物を取り上げ、それらの使い方について具体的に示す。この時期の子どもたちは、繰り返し、具体的に指導することが必要である。</p> <p>③他教科・行事との関連……生活科の学習や学校行事（例：遠足）などの共通体験の場と関連させることで、より具体的な実践を行うことができる。</p>	<p>【導入】P122を活用して、みんなが使うものについてのきまりやマナーについて考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【終末】P123を活用して、まとめの活動をさせる。</p> <p>【発展】P128・P129を活用して、きまりやマナーのカルタづくりをさせる。</p>

【わたしたちの道徳】黄色い ベンチ【主題名／やくそくや きまりを まもって】〈規則の尊重〉

9 月				<p>【導入】P122を活用して、みんなが使うものについてのきまりやマナーについて考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【終末】P123を活用して、まとめの活動をさせる。</p> <p>【発展】P128・P129を活用して、きまりやマナーを調べる活動をさせる。</p>
--------	--	--	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
16. わきだした みず〔主題名／たすけずには いられない ころ〕〈生命の尊さ〉				
9 月	<p>◎自分の命だけでなく、友達の命も大切にしようとする。</p> <p>* 人の命を助けるために一生懸命に努力した人の心や行為に感動することができる。</p> <p>* 人の命を助けようとする人の心のすばらしさがわかる。</p> <p>* そのようなすばらしい心は、自分ももっていることを自覚する。</p> <p>* 人の命を大切にしていこうとする。</p>	<p>1 資料『わきだした みず』の前半を聞いて、命が危ない魚たちのことについて話し合う。</p> <p>2 資料『わきだした みず』を初めから読んで、「かに」の活躍について話し合う。</p> <p>3 魚たちは「かに」に、どんなことをいっているかについて話し合う。</p> <p>4 「かに」のように、「助けずにはいられない心」をもった人はいないかについて話し合う。</p> <p>5 教師の説話を聞く。</p>	<p>①道徳の授業……資料『わきだした みず』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……学級や学校で育てている生きものに関心を持ち、よりいっそう大切に育てていくように指導する。</p>	<p>【導入】 P100・P101 を活用して、生きることについて考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【終末】 P92・P93 を活用して、自分が生きていることを感じとらせ、資料『わきだした みず』で学んだことを広げる。</p> <p>【発展】 P90・P91 を活用して自分のことを調べさせる。</p>
【わたしたちの道徳】 ハムスターの 赤ちゃん〔主題名／いのちを大切に〕〈生命の尊さ〉				
9 月				<p>【導入】 P100・P101 を活用して、生きることについて考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【発展】 P92・P93 を活用して、自分が生きていることを感じとらせ、資料『ハムスターの 赤ちゃん』で学んだことを広げる。</p>
17. ゆうきの とびら〔主題名／ゆうきパワー〕〈善悪の判断、自律、自由と責任〉				
10 月	<p>◎よいと思ったことは、進んで行おうとする。</p> <p>* 「よいこと」「わるいこと」の判断ができる。</p> <p>* 「よいことを進んで行う」ためには、勇気があることがわかる。</p> <p>* 人に注意する場合、よいことをする大切さが相手に伝わるように心がけて注意する。</p>	<p>1 勇気を出した人のことについて話し合う。</p> <p>2 資料『ゆうきの とびら』を読んで、話し合う。</p> <p>3 勇気のとびらを開けることができる場面を設定して考えを深める。</p>	<p>①道徳の授業……資料『ゆうきの とびら』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②帰りの会……帰りの会で、その日、勇気のある行動をしている人を見かけたら発表させる。</p>	<p>【導入】 P36 を活用して子どもの経験を想起させ、資料に入る</p> <p>【発展】 P34・P35 を活用して、どうすればよいのかという実行レベルで考えさせ、資料『ゆうきの とびら』で学んだことを広げさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
【わたしたちの道徳】ほんたと かんた〔主題名／よいと 思う ことは すすんで〕〈善悪の判断, 自律, 自由と責任〉				
10 月				【発展】P34・P35 を活用して, どうすればよいのかという実行レベルで考えさせ, 資料『ほんたと かんた』で学んだことを広げさせる。

<b>重点主題</b>	18 ちゃんとの たつじん① 19 ちゃんとの たつじん②	▶ 重点主題名／まいにちを きもちよく〔基本的生活習慣〕
<p>【重点主題のねらい】</p> <p>◎基本的生活習慣を身につけて, 毎日気持ちよい生活ができるようにする。</p> <p>*日常生活の中で「できる」と「ちゃんとできる」ことに違いがあることに気づく。</p> <p>*基本的生活習慣が身につくということ, 毎日きちんとやることであるとわかる。</p> <p>*日常のさまざまな場面で, 自分からきちんとやることを身につけ, 気持ちよく生活をしようとする。</p>		

18. ちゃんとの たつじん①〔主題名／きもちよい がっこうの せいかつ〕〈節度, 節制 / よりよい学校生活, 集団生活の充実〉

10 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的生活習慣が身についている人を「ちゃんとの たつじん」ということがわかり, そういう人はすばらしいなあと感動できる。</li> <li>○毎日ががんばって続けると, 「ちゃんとの たつじん」になれることがわかる。</li> <li>○自分も「ちゃんとの たつじん」になりたいと思い, 毎日続けるようになる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 資料『ちゃんとの たつじん①』を読んで, 話し合う。</li> <li>2 自分の「ちゃんとの たつじん」を見つけて発表する。</li> </ol>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>朝登校してから給食の時間まで学校生活の主な場面について, できていない場面とできている場面对比されている。左右の絵の違いを話し合いながら, どうすることが「たつじん」になるかを考えさせる。さらに, 「たつじん」になるということは, 心も育つことに気づかせることができる。</p>	<p>【導入】P20・P21 を活用して, 自分の生活リズムを調べさせ, 『ちゃんとの たつじん』の読みに入る。</p> <p>【発展】P12～P15 を活用して, 学校生活だけではなく家庭生活など継続的にみつめさせる。</p>
---------	---	---	---	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
19. ちゃんとの たつじん②〔主題名／きもちよい いえの せいかつ〕〈節度、節制 / 希望と勇気、努力と強い意志〉				
10月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○家の中のことで、「ちゃんとの たつじん」になることは、自分にもできることだということがわかる。</p> <p>○自分でちゃんとできることを見つけて、毎日をもっと気持ちよく過ごそうとする意欲をもつ。</p>	<p>1 自分たちが見つけた「ちゃんとの たつじん」を発表し合う。</p> <p>2 資料『ちゃんとの たつじん②』を読んで、話し合う。</p> <p>3 自分の「ちゃんとの たつじん」を見つけて発表する。</p>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>1時間目の学習を受けて、起床から就寝まで主な場面で左右の絵の違いを話し合いながら、「ちゃんとの たつじん」は、自分でできることと毎日続けてできることに気づかせる。そして、具体的な場面を通して自分たちの成長に喜びを感じさせながら、さらに「たつじん」を目指すことで、毎日を気持ちよく過ごしたいという心を高め、基本的な生活習慣を身につけさせていくことができる。</p>	<p>【導入】P20・P21 を活用して、自分の生活リズムを調べさせ、『ちゃんとの たつじん』の読みに入る。</p> <p>【発展】P12～P15 を活用して、学校生活だけではなく家庭生活など継続的にみつめさせる。</p>
【わたしたちの道徳】るっぺ どう したの〔主題名／きそく 正しく 気持ちの よい 毎日を〕〈節度、節制〉				
10月				<p>【導入】P20・P21 を活用して、自分の生活リズムを調べさせ、『るっぺ どう したの』の読みに入る。</p> <p>【発展】P12～P15 を活用して、学校生活だけではなく家庭生活など継続的にみつめさせる。</p>
20. どうぶつにも ころろが ある〔主題名／どうぶつに やさしく〕〈自然愛護〉				
10月	<p>◎動物にも心があって、顔の表情や体の動作でいろいろな気持ちを表していることがわかり、動物の気持ちを理解して仲よくしようとする。</p> <p>*動物にも心があり、いろいろな気持ちをもっていることに気づく。</p> <p>*動物が表情や動作でどのような気持ちを表そうとしているかがわかる。</p> <p>*身近な動物の気持ちをよく理解して仲よくしようとする意志をもつ。</p>	<p>1 動物のことで知っていることを紹介し合う。</p> <p>2 資料『どうぶつにも ころろが ある』を読んで、話し合う。</p> <p>3 実際に動物のようすを観察する。</p> <p>4 [かんさつカード] に書く。</p>	<p>①道徳の授業……資料『どうぶつにも ころろが ある』を読んで、話し合わせる。[本時]</p> <p>②国語の時間……飼っている動物を主人公とした物語を創作させたり読んだりさせる。</p> <p>③生活科……動物を飼う活動で、動物がどのように心を動かすかを観察させる。</p> <p>④家庭生活……家で飼っている虫や動物の視点を「学級だより」で紹介する。</p>	<p>【導入】P102 を活用して、生きものについての興味関心を高める。</p> <p>【発展】P104・P105 を活用して、動物愛護を描いた話を読む活動をさせる。</p>



月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	----------------

【わたしたちの道徳】虫が 大すき—アンリ・ファーブル—〔主題名／生きものに やさしく〕〈自然愛護〉

10 月				<p>【導入】P103を活用して、学習の視点をもたせる。</p> <p>【発展】P104・P105を活用して、生きものや自然に親しむ内容の読書へ広げさせる。</p>
---------	--	--	--	--

21. わたしに できる こと〔主題名／はたらくと みんなが いい きもち〕〈勤労，公共の精神〉

11 月	<p>◎働けば、まわりの人が喜んでくれたり、自分もいい気持ちになることがわかり、自分にできる仕事をしようとする。</p> <p>*まわりの人のために働いている人を見て、立派だなあという気持ちをもつことができるようになる。</p> <p>*人のために働けば、まわりの人が喜んでくれるだけでなく、自分もうれしくなることがわかる。</p> <p>*人のためになる仕事を進んでするようになる。</p>	<p>1 くまのべいちゃんの絵を見て、べいちゃんはどうしたかなと問題意識をもって資料を読む。</p> <p>2 資料『わたしに できる こと』を読んで、話し合う。</p> <p>3 自分たちの家での仕事について話し合う。</p> <p>4 自分にできる仕事をしてみんなを喜ばせたり、自分もいい気持ちになったりしようと話し合う。</p>	<p>①日常生活………学校内での係り活動や家庭内での仕事に関する体験を豊かに積ませておく。</p> <p>②道徳の授業……資料『わたしに できる こと』を読んで、働くよさについて話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③日常生活………学校内・家庭内での仕事がいっかりできるような環境をつくる。</p>	<p>【導入】P130・P131を活用して、はたらくことについて考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【展開後段】P132を活用して、はたらくことについての自分の考えをまとめさせる。</p> <p>【発展】P133を活用して、自分の仕事について調べる活動をさせる。</p>
---------	--	---	---	--

【わたしたちの道徳】森の ゆうびんやさん〔主題名／はたらく ことの よさを かんじて〕〈勤労，公共の精神〉

11 月				<p>【導入】P130・P131を活用して、はたらくことについて考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【展開後段】P132を活用して、はたらくことについての自分の考えをまとめる。</p> <p>【発展】P133を活用して、自分の仕事について調べる活動をさせる。</p>
---------	--	--	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	----------------

22. 二つのことり【主題名／ともだちの きもちを おもう ところ】〈友情, 信頼〉

11月	<p>◎お互いに友達の気持ちを考えて、助け合っ て生活しようとする。 *友達の気持ちを考えて実行した人の心 や行いに感動することができる。 *自分のことしか考えないで行動する人 と友達の気持ちも考えて行動する人との 違いがわかる。 *友達の気持ちを考えて、助け合っ ていこうとする。</p>	<p>1 「友達がいてよかった」と思った経 験を発表する。 2 資料『二つのことり』を読んで、 話し合う。 3 「友達の気持ちを思う心」をもった 人は、この話のほかにはないかにつ いて話し合う。 4 「友達の気持ちを思う心」をもった 人をもっとたくさんがそうよとい う課題について話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『二つのことり』を読 んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……「友達の気持ちを思う心」を もった人はほかにはないか、 国語の教科書や今までに読ん だ本の中からさがさせて、発 表する場を設定する。また、 家庭でも話題にするように依 頼する。</p>	<p>【導入】P75を活用して、どんな友達がほし いかを考えさせ、資料の読みに入る ようにする。 【発展】資料『二つのことり』を学んだこ とを、P76を活用して、友達のか かわりをまとめさせる。</p>
-----	---	---	--	---

【わたしたちの道徳】およげない りすさん【主題名／ともだちと なかよく】〈友情, 信頼〉

11月				<p>【発展】資料『およげない りすさん』で 学んだことを、P74を活用して、友 達をたくさんつくりたいという意 欲をもたせる。</p>
-----	--	--	--	--

23. あきの おくりもの【主題名／あきの おくりもの】〈感動, 畏敬の念〉

11月	<p>◎自然の美しいおくりものにふれ、すがすが しい心をもつ。 *身近にある自然の美しさにふれて、きれ いだと感じることができる。 *人は、自然の美しさにふれて、すがすが しい心になることがわかる。 *もっと自然の美しさにふれて、すがすが しい心もちたいと思うようになる。</p>	<p>1 「あきの おくりもの」とは、どの ようなものかを想像する。 2 資料『あきの おくりもの』を読ん で、秋はどのようなおくりものをし たかを話し合う。 3 美しいものを美しいと感じる心につ いて、教師の話聞く。 4 資料『あきの おくりもの』のほか にも、美しいものがないかにつ いて話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『あきの おくりもの』 を読んで、話し合わせる。 〔本時〕 ②日常生活……「美しいものを見つけたら絵 や文に残しておきましょう」 と示唆し、ノートに記録させ る。</p>	<p>【導入】P110・P111を活用して、すてきな ものを書かせ、興味関心をもたせ る。 【終末】P112・P113を活用して、まとめにか える。 【発展】P114を活用して、すてきなもの に出会ったことを書きとめさせる。</p>
-----	--	---	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
24. きんの おの〔主題名／しょうじきな ひと〕〈正直, 誠実〉				
11 月	<p>◎うそをついたりごまかしたりしないで、いつも明るい心で行動しようとする。</p> <p>*正直に行動した人の行いにふれて、心が動く。</p> <p>*うそをついたりごまかしたりすることはよくないことであり、自分の心も相手の心も暗い心になることがわかる。</p> <p>*正直で素直に伸び伸びと生活しようとする。</p>	<p>1 うそをついてはいけないわけについて話し合う。</p> <p>2 正直な人とそうでない人にはどのような違いがあるのかを考えながら、資料『きんの おの』を読んで、話し合う。</p> <p>3 学習したことをもとに、うそや正直をテーマにした標語を考え、カードに書いて掲示する。</p>	<p>①日常生活……保護者の協力も得て、学校でも家庭でも、正直に行動することの大切さを教える。</p> <p>②道徳の授業……資料『きんの おの』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③課外……校長先生のお話を聞く。</p>	<p>【展開後段】『きんの おの』で学んだことを P44・P45 を活用して、正直にすることのよさについて自分の考えをまとめさせる。</p> <p>【発展】P46 を活用して、明るく正直に過ごすことについて、継続的に自分をみつめさせる。</p>
【わたしたちの道徳】お月さまと コロ〔主題名／すなおに のびのびと〕〈正直, 誠実〉				
11 月				<p>【展開後段】『お月さまと コロ』で学んだことを P44・P45 を活用して、正直にすることのよさについて自分の考えをまとめさせる。</p> <p>【発展】P46 を活用して、明るく正直に過ごすことについて、継続的に自分をみつめさせる。</p>
25. だいな わすれもの〔主題名／きもちの よい あいさつ〕〈礼儀〉				
12 月	<p>◎心のもったあいさつをして、お互いに気持ちよく生活しようとする。</p> <p>*あいさつは、自分の気持ちを伝えるものであることがわかる。</p> <p>*あいさつをすると、お互いの心が通じ合い、お互いによい気持ちになることがわかる。</p> <p>*あいさつの大切さがわかり、進んであいさつをしようとする。</p>	<p>1 ふだんの生活の中で、どのようなあいさつをしているかを出し合う。</p> <p>2 資料『だいな わすれもの』を読み、お母さんが「ひろみちゃんて、いい こね」と言ったわけについて話し合う。</p> <p>3 礼儀正しくすることで、どのような気持ちを伝え合っているのかを話し合う。</p> <p>4 もう一度、自分の生活を見直し、もっと礼儀正しくしたいところを考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『だいな わすれもの』を読んで、あいさつがどんな役割を果たしているかについて話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②帰りの会……ときどき取り上げ、実践できているかどうかを振り返らせる。</p> <p>③課外や家庭……家庭と連携し、進んであいさつができるようにさせる。</p>	<p>【展開後段】資料『だいな わすれもの』で学んだことを P58 を活用して、あいさつを通して感じ取れる心についてまとめさせる。</p> <p>【終末】P59 を活用して、生活の中にある多くの礼儀を調べる活動をさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
【わたしたちの道徳】たびに 出て〔主題名／気もちの よい ふるまいを〕〈礼儀〉				
12月				<p>【展開後段】資料『たびに 出て』で学んだことを P58 を活用して、あいさつを通して感じ取れる心についてまとめさせる。</p> <p>【終末】P59 を活用して、生活の中にある多くの礼儀を調べる活動をさせる。</p>
26. 一にち 十ぶん〔主題名／がんばって つづける〕〈希望と勇氣、努力と強い意志〉				
12月	<p>◎自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。</p> <p>*自分がやらなければならないことをしっかりとがんばっている人を見て、えらいなあと思う。</p> <p>*いやになったときでも、もっとがんばろうとすれば、がんばる力を出すことができることがわかる。</p> <p>*自分でやろうと決めたことは、工夫して最後までやり遂げようとする。</p>	<p>1 自分ががんばっていることを出し合う。</p> <p>2 資料『一にち 十ぶん』を読んで、うまくできないつらさや、それでもまたがんばろうとする気持ちについて話し合う。</p> <p>3 「がんばる力」は、どこから出てくるのかを考える。</p> <p>4 学習活動1で思い出したことを参考にして、もっとがんばってみたいことを決める。</p> <p>5 カードにがんばることを書いて、教室に掲示する。</p>	<p>①道徳の授業……資料『一にち 十ぶん』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②帰りの会など……自分ががんばっていることや友達ががんばっていることを話題にし、お互いに認め合わせる。</p> <p>③家庭生活……目標を立て、それを実現するためにどのようにすればよいか、計画を立てて実行させる。</p> <p>④国語の授業……字をていねいに書いている子をほめ、毎日継続できるようにさせる。</p>	<p>【導入】P22・P23 を活用して、自分がやらなければならないことがあることに気づかせる。</p> <p>【発展】P24 を活用して、自分がやらなければならないことを活動させ、家の人からコメントをもらい、学んだことを広げさせる。</p>
【わたしたちの道徳】—二宮 金次郎—小さな どの つみかさね〔主題名／自分で やる ことは しっかりと〕〈希望と勇氣、努力と強い意志〉				
12月				<p>【導入】P22・P23 を活用して、自分がやらなければならないことがあることに気づかせる。</p> <p>【発展】P24 を活用して、自分がやらなければならないことを活動させ、家の人からコメントをもらい、学んだことを広げさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	----------------

**重点主題**

27 ひつじかいと おおかみ  
28 なまはげ

▶ 重点主題名／しては いけない こと〔善悪の判断〕

【重点主題のねらい】

◎してよいことと悪いことの区別をしっかりと、自分をコントロールしようとする。

\*してよいことと悪いことがあることがわかる。

\*してよいことには快の感情、してはいけないことには不快の感情をもつようになる。

\*してはいけないことを自覚し、自分をコントロールする。

27. ひつじかいと おおかみ〔主題名／あかき きもちに へんしん〕〈善悪の判断, 自律, 自由と責任 / 正直, 誠実〉

1 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○うそをつくつと、たいへんなことになることがわかる。</li> <li>○うそだけでなく、「してはいけないこと」はたくさんあることがわかる。</li> <li>○「してはいけないこと」をもっとたくさんさがそうとする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 羊飼いの仕事について知る。</li> <li>2 資料『ひつじかいと おおかみ』を読んで考える。</li> <li>3 自分は絶対にしないと思うことについて考えてくる計画を立てる。</li> </ol>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>羊飼いの仕事に飽きた子どもが、「狼が来た」とうそをついて村人を何度もだます。ほんとうに狼が来て助けを呼んだとき、またうそに違いないとだれも助けに来なかったというイソップ童話をもとにした話である。うそを続けると信用してもらえなくなること気づかせることができる。</p>	<p>【発展】 P42・P43 を活用して、重点主題で学んだ「してはいけないこと」について、みつめる活動をさせる。</p>
--------	---	--	---	---

28. なまはげ〔主題名／こんな こ いなかな〕〈節度, 節制 / 善悪の判断, 自律, 自由と責任〉

1 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○してはいけないことにはどのようなことがあるか、友達の話聞いて、自分の考えを広げる。</li> <li>○してはいけないことを学級みんなで共通理解する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「自分は絶対にしない」と思ったことにはどのようなことがあるかを発表する。</li> <li>2 「なまはげ」について理解し、吹き出しに「してはいけないこと」を記入する。</li> <li>3 「してはいけないこと」の一覧表を作り、自分が気をつけたいことを3つ選ぶ。</li> </ol>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>秋田県の年越しの風習である。神様である「なまはげ」は、怠け者をいさめるために、鬼の形を借りて家々を回る。恐ろしい形をした「なまはげ」にしかられる悪いこととはどのようなことかを考えることによって、善悪の判断を自分ですることができるようになるであろう。</p>	<p>【発展】 P42・P43 を活用して、重点主題で学んだ「してはいけないこと」について、みつめる活動をさせる。</p>
--------	---	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	----------------

【わたしたちの道徳】ほんたと かんた〔主題名／よいと 思う ことは すすんで〕〈善悪の判断, 自律, 自由と責任〉

1 月				【発展】P42・P43 を活用して, 重点主題で学んだ「してはいけないこと」について, みつめる活動をさせる。
--------	--	--	--	---

29. はしの うえの おおかみ〔主題名／ひとが よろこぶ ことは うれしい こと〕〈親切, 思いやり〉

2 月	<p>◎まわりの人々に思いやりの心をもって接し, 親切にしようとする。</p> <p>* 他者が喜ぶことに喜びを感じて他者を支えている人の心がわかり, その心や行いに感動することができる。</p> <p>* 自分がうれしいと思うことを他者にもしようとする心が, ほんとうの思いやりであることがわかる。</p> <p>* そのような心は, 自分ももっていることがわかる。</p> <p>* 思いやりの心をもって人に親切にしていこうという心をもって, 日々生活していく。</p>	<p>1 『はしの うえの おおかみ』に, 好きな動物が出てくるだろうか」という問題意識をもって資料を読む。</p> <p>2 好きな動物がいたか, それはどんな動物かについて話し合う。</p> <p>3 「人が喜べば自分もうれしい」という心をもった人の話を思い出して話し合う。</p> <p>4 「もっとたくさんの人をさがそう」という課題について話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『はしの うえの おおかみ』を読んで, 話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……国語の教科書や今までに読んだ本の中から, 「人が喜べば自分もうれしくなった人」の話をさがして発表させる。</p> <p>③学級活動……そのような心は自分ももっていることについて, 校長先生や保健の先生から話を聞いて実践し, 記録させたり, 発表させたりする。</p>	<p>【まとめ】P66・P67 を活用して, 学んだことを広げさせる。</p> <p>【発展】P68・P69 を活用して, 親切をみつめる活動をさせる。</p>
--------	---	---	--	--

【わたしたちの道徳】はしの 上の おおかみ〔主題名／あたたかい 心で 親切に〕〈親切, 思いやり〉

2 月				【発展】P68 を活用して, 親切をみつめる活動をさせる。
--------	--	--	--	-------------------------------

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
30. ぎんの しずく〔主題名／かぞく だいすき〕〈家族愛、家庭生活の充実〉				
2月	<p>◎父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知る。</p> <p>*父母は、仕事をするときも、しかってくれるときも、いつも家族のことを思っていることがわかる。</p> <p>*今の自分があるのは、家族のあたたかな思いや願いがあったからということがわかる。</p> <p>*家族への親しみを深めて、父母や祖父母に感謝の気持ちをもつことで、家族のために何ができるかを考えて生活しようとする。</p>	<p>1 家族っていいなと思うのはどんなときかを話し合う。</p> <p>2 資料『ぎんの しずく』を読み、星は、どんな気持ちで3人のお母さんを見ているかを話し合う。</p> <p>3 お父さんやお母さんに自分がしてあげられる「ぎんのしずく」を考え発表する。</p>	<p>①道徳の授業……資料『ぎんの しずく』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②生活科や性教育で……自分の誕生のころの話を家族から聞く。家族の一員として、家族の役に立つことを考えさせる。役に立てたい気持ちを「かぞく だいすき」カードに書かせたり、発表させたりして認め合わせる。</p> <p>③学級活動……母の日、父の日、敬老の日などに、感謝の手紙を書かせる。</p>	<p>【展開後段】P138を活用して、家族愛について自分の心をつめさせる。</p> <p>【発展】P142を活用して、家族のためにしたことをまとめさせる。</p>
31. ハムスターの あかちゃん〔主題名／いのち〕〈生命の尊さ〉				
2月	<p>◎動物の赤ちゃんの生きているようすを知ることによって生命の大切さに気づき、生命を大切にしようとする。</p> <p>*動物の赤ちゃんの生きているようすを知って、かわいいなという気持ちをもつ。</p> <p>*赤ちゃんの命はお母さんに守られ、元気に生きていることがわかる。</p> <p>*命は生きるうれしさを与えてくれることがわかり、生命を大切にしようとする。</p>	<p>1 動物や人間の赤ちゃんについて、話し合う。</p> <p>2 資料『ハムスターの あかちゃん』を読んで、話し合う。</p> <p>3 自分の命がつくりだしてくれている、うれしいことや幸せなことについて考える。</p>	<p>①生活科の時間……動物を飼う体験をさせる。</p> <p>②道徳の授業……資料『ハムスターの あかちゃん』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③読書活動……命のことを扱った本を、読み聞かせる。</p>	<p>【導入】P90を活用して、いのちがどうして大切なのか考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【発展】P91を活用して、資料『ハムスターの あかちゃん』で学んだいのちの大切さについて家庭でインタビューをして、自分のいのちをつめさせる。</p>
【わたしたちの道徳】ハムスターの 赤ちゃん〔主題名／いのちを大切に〕〈生命の尊さ〉				
2月				<p>【導入】P90を活用して、いのちがどうして大切なのか考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【発展】P91を活用して、資料『ハムスターの 赤ちゃん』で学んだいのちの大切さについて家庭でインタビューをして、自分のいのちをつめさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
32. もうすぐ 二ねんせい〔主題名／わたしたちの がつきゅう〕〈よりよい学校生活，集団生活の充実〉				
2 月	<p>◎自分の成長には先生の支えがあることを知り，先生を慕い，学校生活を楽しむようになる。</p> <p>* 1年間で自分も友達も色々なことができるようになったことがわかる。</p> <p>* 自分ができるようになったことの背景には，先生の支えや励ましがあったことに気づき，先生に尊敬の念を抱くようになる。</p> <p>* 先生や友達と共に過ごす学校生活のよさを感じ，所属感をもつとともに，進級に向けての希望をもつことができる。</p>	<p>1 学級目標を読み，思い出せることを発表する。</p> <p>2 資料『もうすぐ 二ねんせい』で，先生や子どもたちのようすから，よいと思われることを話し合う。</p> <p>3 自分たちができるようになったことについて，先生にいただいたことを発表する。</p> <p>4 校歌を歌う。</p>	<p>①日常生活……朝の会や帰りの会で，自分ができるようになったことを紹介させる。</p> <p>②生活科の時間…学習活動や行事を振り返り，先生にしていたいただいたことを調べさせる。</p> <p>③道徳の授業……資料『もうすぐ 二ねんせい』を読んで，自分たちができるようになったことをきっかけに，今後の学校生活でがんばりたいことを話し合わせる。 〔本時〕</p> <p>④学級活動……できるようになったことを紹介する場を設け，発表させる。</p>	<p>【終末】 P146 を活用して，すてきな学級にするために自分のできることをまとめさせる。</p> <p>【発展】 P148 を活用して，学校の好きなところを調べる活動をさせる。</p>
33. うわばきぶくろ 〔主題名／ものを たいせつに〕〈節度，節制〉				
3 月	<p>◎物を大切に使うことによって，毎日の生活が気持ちよく過ごせるようになる。</p> <p>* 物には，それを作った人やくれた人の心と，自分の思い出がこもっていることがわかる。</p> <p>* 物を大切にすることは，人の心を大切にすることだといえることがわかる。</p> <p>* 自分から進んで物を大切に，気持ちよく生活しようとする。</p>	<p>1 クラスの中の落とし物は，どのような物がどれくらいあるかを見直す。</p> <p>2 資料『うわばきぶくろ』を読み，「はるお」の上ばき袋に対する思いについて考える。</p> <p>3 自分が大切に使っている物や，これから大切に使いたい物を思い出し，そのわけを考える。</p>	<p>①係活動……落とし物のようすを調べ，みんなに知らせる。</p> <p>②道徳の授業……資料『うわばきぶくろ』を読んで，話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③日常生活……大切にしている物を持ち寄り，紹介し合う活動をさせる。</p>	<p>【発展】 P12～P15 を活用して，学校生活だけではなく家庭生活など継続的にみつめさせる。</p>
【わたしたちの道徳】 るっぺ どう したの〔主題名／きそく 正しく 気もちの よい 毎日を〕〈節度，節制〉				
3 月				<p>【発展】 P12～P15 を活用して，学校生活だけではなく家庭生活など継続的にみつめさせる。</p>



月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
34. ひしゃくぼし〔主題名／うつくしい ころ〕〈感動，畏敬の念〉				
3 月	<p>◎美しいものに感動し，すがすがしい心をもとうとする。</p> <p>*他者を思いやる人の心の美しさに感動することができる。</p> <p>*自分の心の中にも美しい心にひびき合う心があることがわかる。</p> <p>*美しい心にふれたときのすがすがしさを大切にしていこうとする。</p>	<p>1 暗くした静かな雰囲気のある教室の中で，パソコンの天体ソフトや OHP など，「ひしゃく星（北斗七星）」をながめ，その美しさを感じ取る。</p> <p>2 資料『ひしゃくぼし』を読んで，話し合う。</p> <p>3 目を閉じ，もう一度『ひしゃくぼし』の話を聞く。</p>	<p>①道徳の授業……資料『ひしゃくぼし』を読んでも，話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②生活科など……副読本のさし絵を参考にして，『ひしゃくぼし』の話を紙芝居にまとめさせる。</p>	<p>【導入】P112・113 を活用して，美しいと感じる心について考えさせ，資料の読みに入るようにする。</p> <p>【展開後段】P114 を活用して，美しいものを感じる自分の心を見つめさせる。</p>